

環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）」における実証対象技術の選定について

（同時資料提供 環境省）

平成 20 年 12 月 16 日（火）

代表連絡先	環境農林水産総合研究所 企画調整部研究調整課 担当 加藤、南 ダイヤルイン番号 06-6972-7634 メールアドレス etech@mbox.epcc.pref.osaka.jp
-------	---

平成 20 年度の環境省環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）」として、大阪府が実施する実証対象技術を選定しましたので、お知らせいたします。

1 概要

9 月 16 日（火）から 10 月 10 日（金）まで実証対象技術の募集を行ったところ、8 件の申請がありました。

大阪府では、申請のあった技術について、形式的要件や実証可能性を検討するとともに、大阪府技術実証委員会において環境保全効果等の検討を行い、窓ガラス表面に塗料をコーティングする技術としての「窓用コーティング材」（2 技術）、建物の屋根に日射反射率の高い塗料を塗布する技術としての「高反射率塗料」（2 技術）、建物の屋上に施工される防水シートに日射反射率を高くした技術としての「高反射率防水シート」（4 技術）の合計 8 技術を実証対象技術として選定し、実証運営機関である財団法人建材試験センターの承認を得ました。

窓用コーティング材

- ・アレイガ（株式会社スリーアロー）
- ・IR ガード（株式会社サンシャイン）

高反射率塗料

- ・ゼッフル遮熱塗料（ダイキン工業株式会社化学研究開発センター）
- ・A T T S U - 9（4 F）（日本ペイント株式会社）

高反射率防水シート

- ・クールラムコ 白色（株式会社大高商会）
- ・リベットルーフ COOL（アーキヤマデ株式会社）
- ・カバーペイント Y T C（東洋ゴム化工品販売株式会社）
- ・ソフラントップ T N - H（東洋ゴム化工品販売株式会社）

2 今後の予定

今後、実証機関である大阪府環境農林水産総合研究所が実証試験計画を策定した後、財団法人建材試験センター 中央試験所（埼玉県草加市稲荷 5 - 2 1 - 2 0）において実証試験を行い、今年度末までに実証試験結果報告書を取りまとめ、公表する予定です。

参考 環境技術実証事業について

本事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者が客観的に実証することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展に資することを目的として、環境省が行っている事業です。

大阪府では、本技術分野の実証試験と評価技術の普及を行うことが、府内のヒートアイランド対策の推進や地域の産業振興に繋がることから、実証機関に応募したところ、（財）建材試験センター、（財）日本塗料検査協会とともに環境省から実証機関として承認されました。

関連ホームページ [環境技術コーディネート事業（環境技術実証事業のページ）](#)